

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.233 (2011年1月1日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう

当面の
日程

- 1月 4日(火) 仕事始め
6日(木) 連合白書学習会(東京)
7日(金) 自治労県本部旗開き 17時30分(ホテル千秋閣)
12日(水) 県職連合旗開き 18時(グランビリオホテル)
13日(金) 2011 新年互礼会 16時(阿波観光ホテル)

「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう!



連合徳島
会長

小松 義明

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、各構成組織の組合員・家族並びに各級役員の皆様には、連合徳島の諸活動にご支援・ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

とりわけ、第22回参議院選挙では、連合組織内推薦候補11名中10名が当選しましたが、民主党は惨敗の結果となりました。また、選挙区におきましても惜敗し、ご支援をいただいた皆様のご期待に応えることができませんでした。衷心よりお礼とお詫びを申し上げます。

一昨年夏の総選挙では、私たちの悲願であった政権交代を果たすことができましたが、鳩山・菅内閣では、政治とカネ、外交・防衛関連課題、閣僚の不適切発言や辞任等々、国の統治機能に関連するとも思われる事案も発生し、マスコミ各社の調査では内閣への支持率も2割台

と急激に低下しています。国民からの期待が大きかっただけに、一度失った国民の信頼を取り戻すのは容易なことではありません。

そのためには、一時のパフォーマンスに頼るのではなく、中長期的な視点から経済・社会のあるべき姿とそれを達成するために必要な戦略・戦術を策定し、果敢に実行する以外になく、改めて政権交代に託した国民の期待を肝に銘じるべきです。

連合は、目指すべき社会像として、2001年に発表した「労働を中心とした福祉型社会」を深化・再定義するため、一昨年の第11回定期大会以降、議論を重ねてまいりましたが、昨年12月2日に開催された第59回中央委員会において、名称を「労働を中心とする福祉型社会」から「働くことを軸とする安心社会」に変更しました。趣旨等については、今後機会あるごとに周知・徹底することとしますが、この社会像は決して掲げて憧れるものではなく、実現しなければ日本社会の持続可能性はないとの認識が必要です。従って、その内容について、積極的に内外に訴えかけ、共感を広げ、浸透されていく努力と各構成組織の諸行動にも反映すべく

取り組みを展開してまいります。連合は今「希望と安心の社会づくりキャンペーン」を展開しています。政策制度実現の取り組み、全ての働く者の労働条件・処遇改善の取り組み、非正規労働に関わる社会的キャンペーン、ワンストップサービスを含む地域に根ざした労働運動の展開などです。

連合徳島は、「働くことを軸とする安心社会」これを連合運動が目指す社会像と位置付けた上で、この1年間の「希望と安心の社会づくりキャンペーン」の基軸として、あらゆる運動・活動に取り入れていくこととします。同時に、現下の厳しい状況において勤労者の雇用と生活を守るため、労働諸条件の取り組みと政策制度からの取り組み強化を推進していくとともに、今春の第17回統一地方選挙での推薦・支持候補者全員の勝利のため全力を挙げ闘う決意を申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ

日本労働組合総連合会

会長 古賀 伸明

新年おめでとうございます。

2011年は、パラダイムシフトを経て希望と



安心の社会の実現に向け動き出す年です。

今、日本の社会で、多くの人たちは様々な不安を抱えながら生きています。さらに、人と人との絆が弱まることにより、不安はさらに増幅され、我が国の持続可能性はあらゆる面で脅かされています。

こうした課題を解決するために、労働組合は社会的責任を果たさなければなりません。勤労者重視の政策・制度を実現するとともに、すべての働く者の生活改善・格差是正、均等待遇を図るべく取り組みを進めてまいります。また、私たち自身の力量を高めるべく、集団的労使関係の再構築に向け、組織拡大をより一層推進します。

このような継続した運動に加え、今年は「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた取り組みをスタートさせます。

誰もが働き、絆でつながることのできる社会が実現できるよう全力で取り組む決意を申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。

誰もが働き、絆でつながることのできる社会が実現できるよう全力で取り組む決意を申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。